

2021年3月期 第2四半期 決算説明資料



株式会社オートバックスセブン

2020年11月2日

目次

2021年3月期 第2四半期累計期間業績 および 下期・通期業績予想

- | | |
|---------------------|-------|
| 1. 全体概況 | P.3～ |
| 2. 国内オートバックス事業 | P.8～ |
| 3. 海外事業 | P.12～ |
| 4. ディーラー・BtoB・ネット事業 | P.13～ |
| 5. 下期・通期業績予想 | P.14～ |

新型コロナウイルスへの対応 および 5年ローリングプラン

- | | |
|------------------|-------|
| 6. 新型コロナウイルスへの対応 | P.19～ |
| 7. 5年ローリングプラン | P.23～ |
-
- | | |
|----------|-------|
| 8. その他資料 | P.37～ |
|----------|-------|

2021年3月期 第2四半期累計期間業績 および下期・通期業績予想

執行役員 経理・財務・IR・広報 担当

池田 知明

2021年3月期上期 連結損益計算書

前年特需の反動により前期比減収減益も、前々期比では増収増益

国内オートバックス事業は、新型コロナの影響により4～5月は売上減少も、6～8月は車の利用頻度向上を背景に前年同水準に回復。9月は前年の特需（前年10月の消費増税・タイヤ値上げ）による反動減。海外も6月以降、都市封鎖などが解除され回復。利益率向上と販管費削減により、連結営業利益は35億円（前々期比+20億円）。

(単位：億円)	2021年3月期 上期				2020年 3月期 上期実績
	期初計画	実績	前期比	計画比増減額	
連結売上高	1,026	997	▲10.2%	▲28	1,110
売上総利益	319	331	▲6.5%	+12	355
売上総利益率	31.1%	33.3%			32.0%
販管費	314	296	▲4.7%	▲18	310
営業利益	5	35	▲19.4%	+30	44
営業利益率	0.5%	3.6%			4.0%
経常利益	6	38	▲17.0%	+32	46
親会社株主帰属利益	1	23	▲16.5%	+22	28

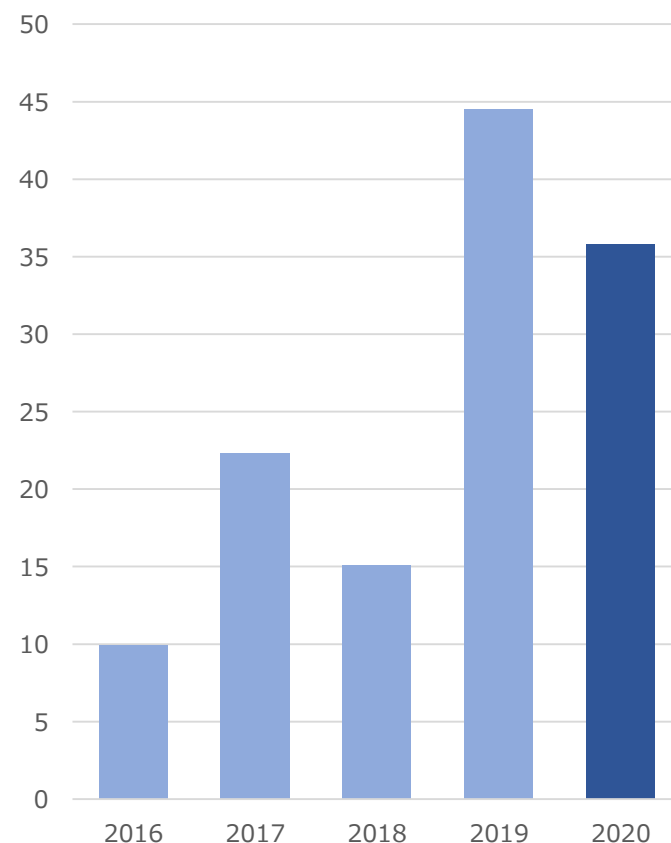
※表示単位未満は切り捨て
※対売上比・前期比は円単位で計算

2021年3月期上期 連結損益計算書 前々期比較

前々期比では大幅増益。直近5カ年では前期に次ぐ営業利益

(単位：億円)	上期		前々期比	前々期 比増減 額
	2019年 3月期 実績	2021年 3月期 実績		
連結売上高	975	997	+2.2%	+21
売上総利益	307	331	+7.8%	+23
売上総利益率	31.6%	33.3%		
販管費	292	296	+1.1%	+4
営業利益	15	35	+137.5%	+20
営業利益率	1.5%	3.6%		
経常利益	18	38	+110.8%	+20
親会社株主帰 属利益	5	23	+296.9%	+17

(単位：億円) 上期 営業利益の推移



※各事業年度

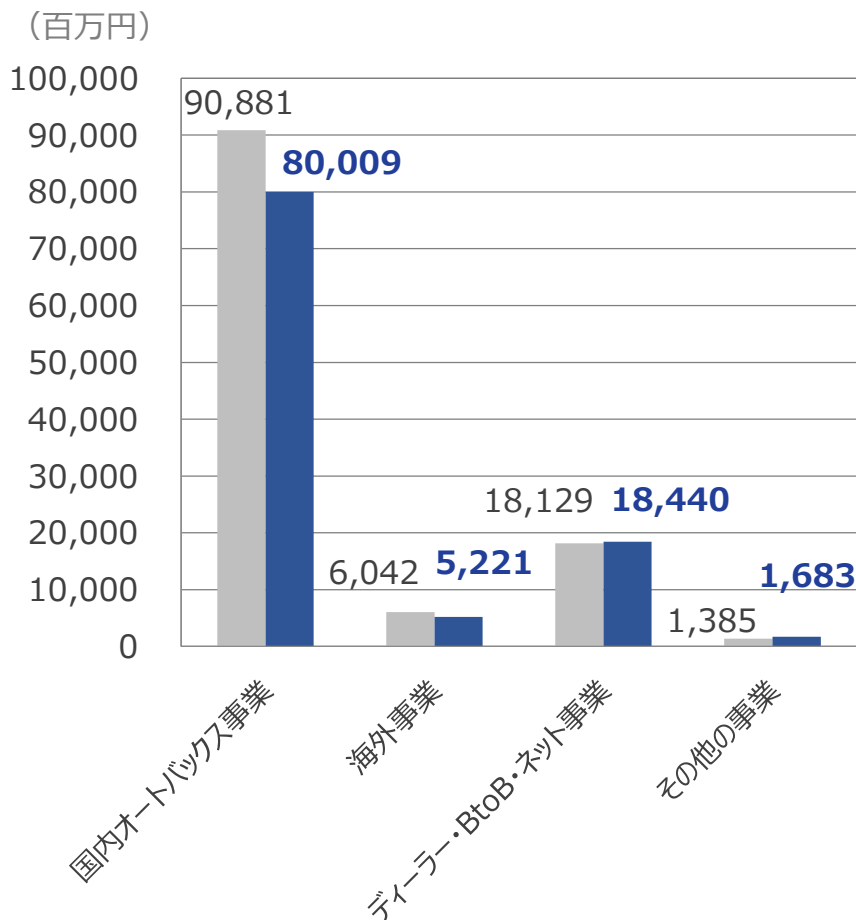
※表示単位未満は切り捨て
※対売上比・前期比は円単位で計算

2021年3月期上期のポイント

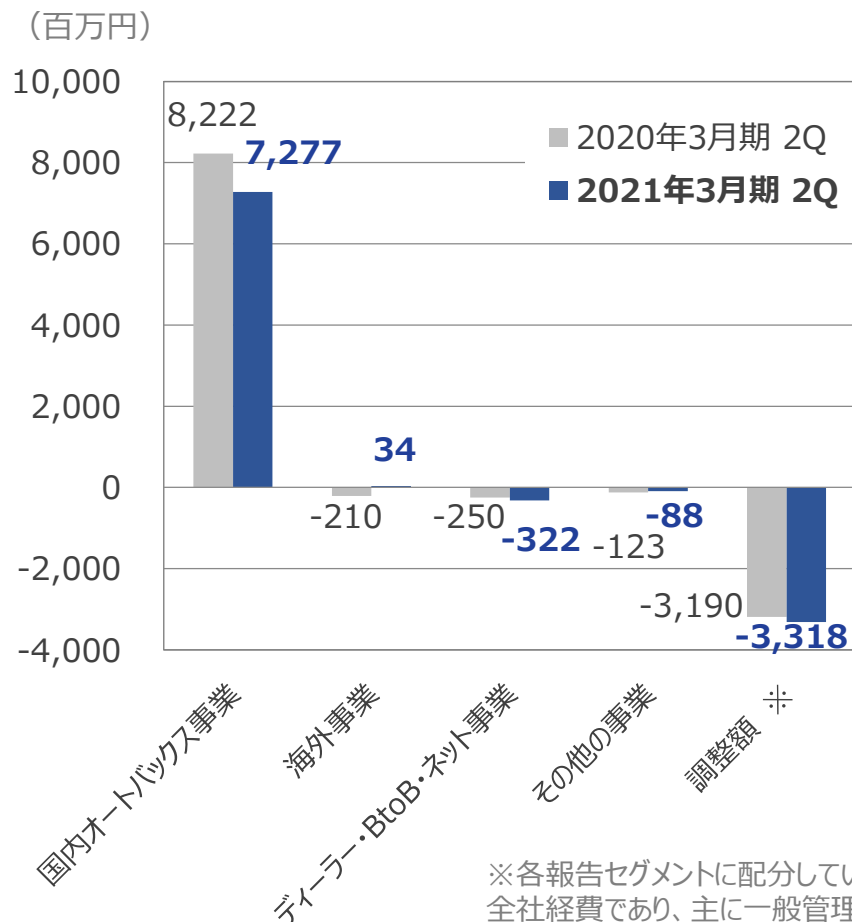
- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、4～5月は売上減少も6月以降は売上回復（9月は前年特需の反動減）
- ✓ クルマの利用状況や価値の変化により、商品別動向が変化
好調：洗車用品/キズ補修関連/車内小物/バッテリー
不調：カーナビゲーション/新車販売
- ✓ 6月末の「あおり運転罰則強化」を受け、7月以降のドライブレコーダーの需要は回復
- ✓ 海外事業は、卸売強化に加え、2019年11月に連結子会社としたシンガポールの板金・塗装・整備会社などの貢献、さらには販管費削減で、営業黒字化を達成
- ✓ 連結営業利益は、利益率向上と販管費削減により、前々期を上回る

2021年3月期上期 報告セグメント別売上および利益

総売上高



セグメント利益



※各報告セグメントに配分していない
全社経費であり、主に一般管理費

※報告セグメントの一部変更について

これまで「国内オートバックス事業」に所属していたICTプラットフォームを推進・管理する部門を「ディーラー・BtoB・ネット事業」に、ライフスタイル事業等を推進・管理する部門および一部の連結子会社を「その他の事業」に、それぞれ移管いたしました。

※表示単位未満切り捨て ※セグメント間の取引を消去する前の数値

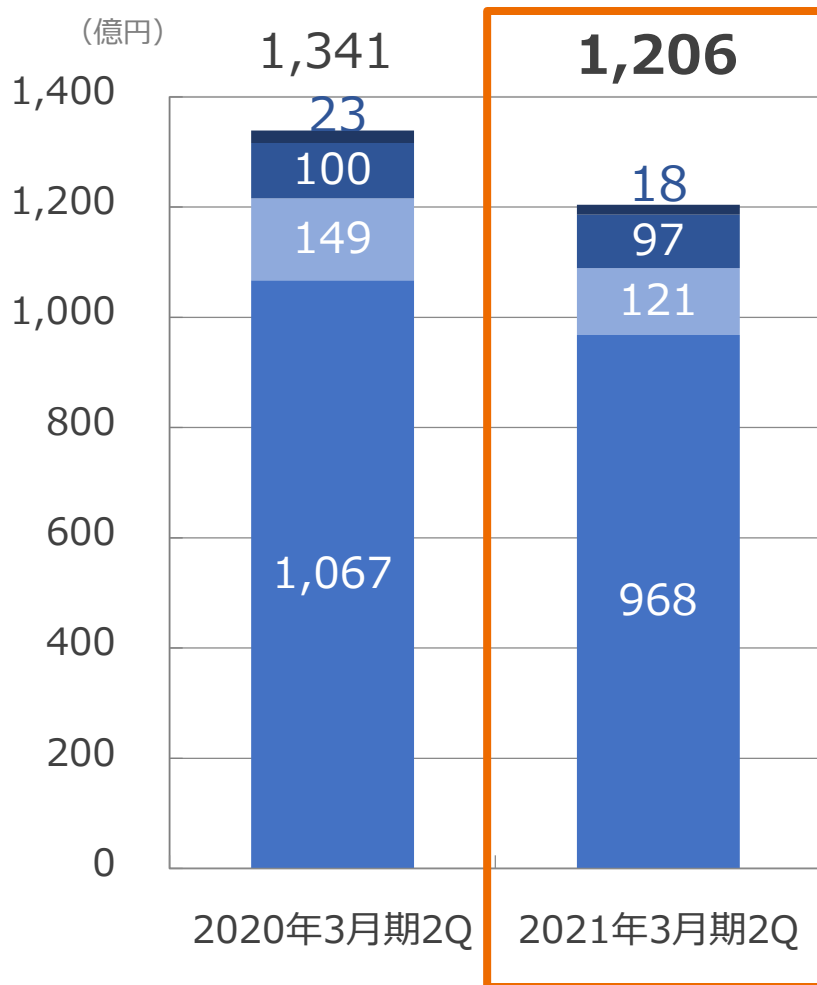
2021年3月期上期 報告セグメント情報

		2021年3月期 上期	2020年3月期 上期	前期比	総括
(単位：百万円)					
国内 オートバックス 事業	総売上高	80,009	90,881	▲12.0%	6～8月は車の利用頻度向上を背景に売上が回復（9月は前年特需により大幅減）。洗車用品やバッテリーが好調。販管費の削減も奏功。
	売上総利益	26,483	28,697	▲7.7%	
	販管費	19,205	20,474	▲6.2%	
	営業利益	7,277	8,222	▲11.5%	
海外事業	総売上高	5,221	6,042	▲13.6%	6月以降は各国の都市封鎖などが解除され売上回復。1Qの売上減少を家賃減額交渉などの販管費削減でカバーし黒字化。
	売上総利益	2,435	2,735	▲11.0%	
	販管費	2,400	2,946	▲18.5%	
	営業利益	34	▲210	－	
ディーラー・ BtoB・ ネット事業	総売上高	18,440	18,129	+1.7%	1Qは新車販売減や卸先受注減により売上減少も、2Qは回復傾向。今期および前期に取得した子会社の影響により売上および販管費増。
	売上総利益	3,641	3,597	+1.2%	
	販管費	3,964	3,848	+3.0%	
	営業利益	▲322	▲250	－	
その他の事業	総売上高	1,683	1,385	+21.5%	ライフスタイル事業の出店などにより売上および販管費増加。営業損失縮小。
	売上総利益	625	480	+30.1%	
	販管費	713	603	+18.2%	
	営業利益	▲88	▲123	－	
調整額	営業利益	▲3,318	▲3,190	－	

※表示単位未満は切り捨て
※前期比は円単位で計算

2021年3月期上期 国内店舗売上高

国内店舗売上高 1,206億円 前期比 ▲10.1%



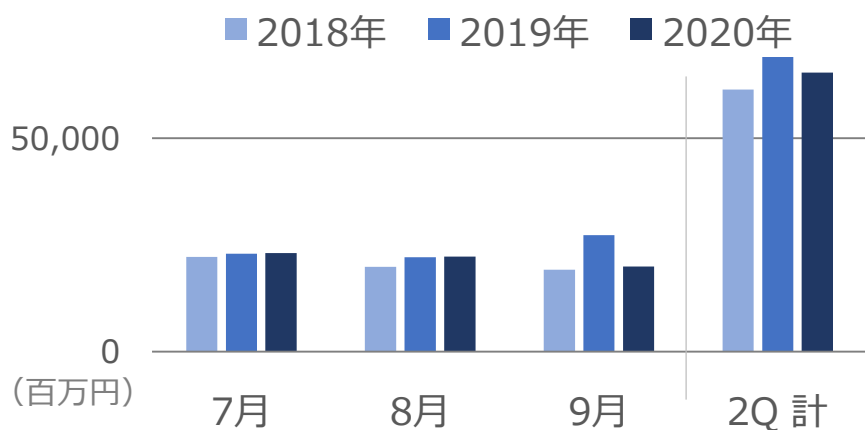
	実績	前期比
中古品：燃料	18億円	▲19.7%
車検・整備	97億円	▲2.8%
	30.3万台	▲6.1%
	指定認証拠点	427店 前期末+4店
車買取・販売	121億円	▲18.9%
	13,330台	▲18.6%
	カーズ加盟店舗	402店 前期末+2店
カー用品販売 +サービス	968億円	▲9.4%

※対象：国内オートバックスチェーン全業態、※表示単位未満切り捨て
※前期比は円単位で計算

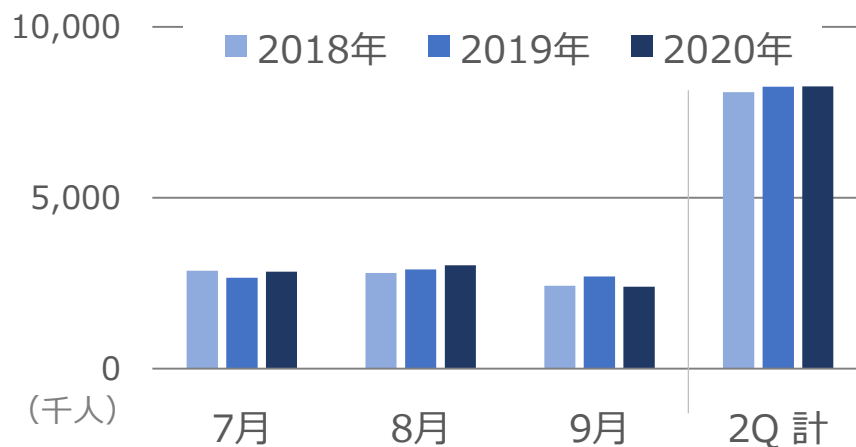
2021年3月期 2Q 国内店舗売上高（3カ年比較）

国内店舗売上高 前々期比 +6.5% 前年9月は特需あり

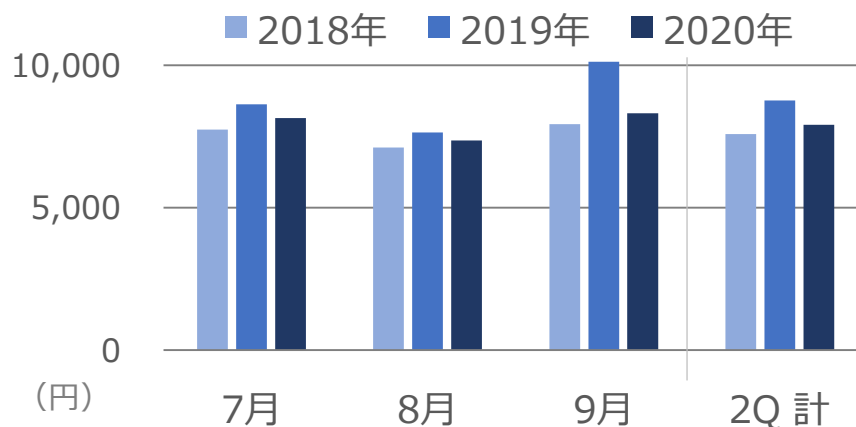
売上高 2Q 前々期比 +6.5%



客数 2Q 前々期比 +2.1%



客単価 2Q 前々期比 +4.3%



【参考】

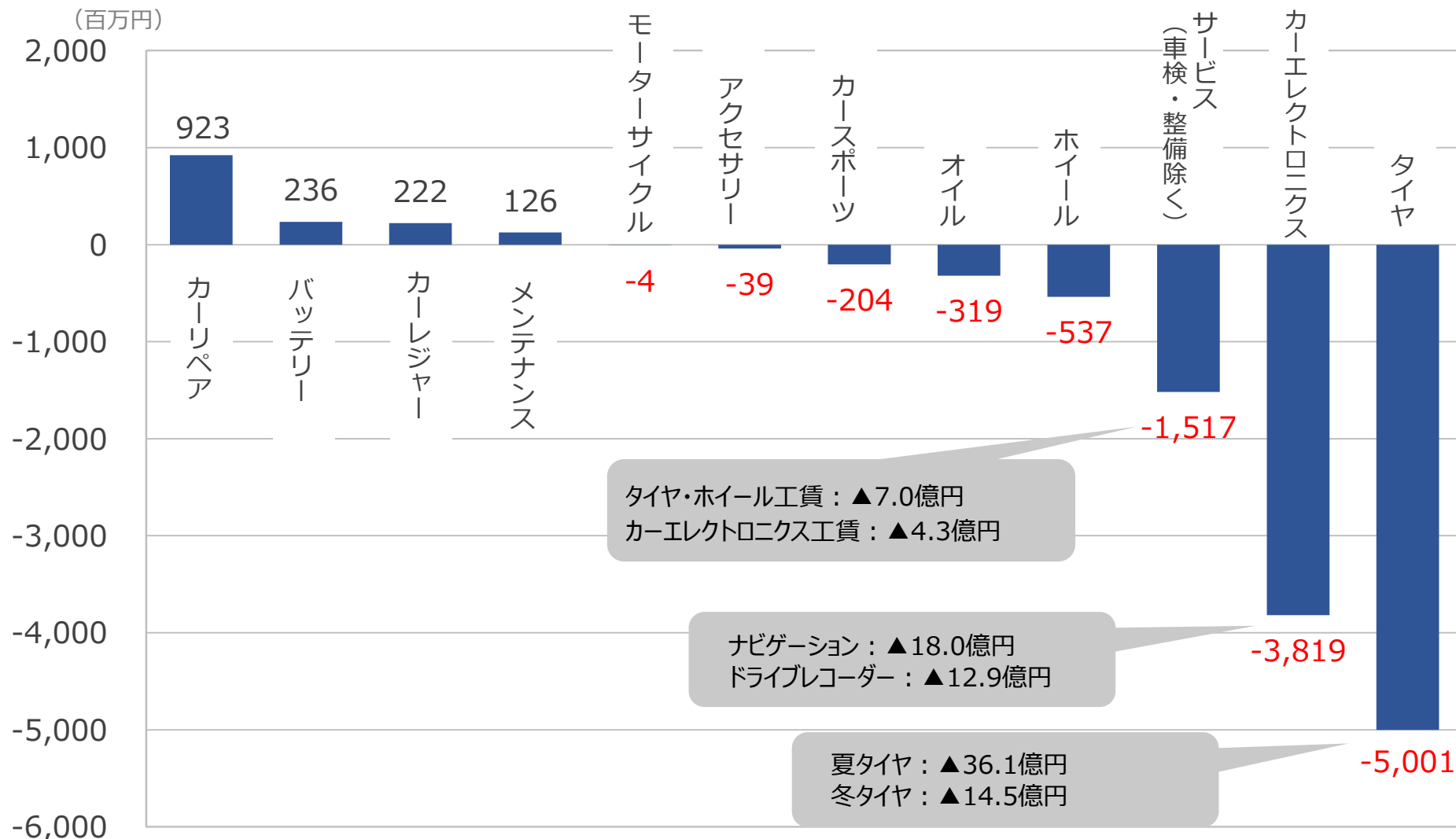
2020年3月期 2Q 国内店舗売上高 前期比+16.9%

- ・10月の消費増税・タイヤ値上げ前特需により、売上大幅増。特に高額商品が伸張

※対象：国内オートバックスチェーン全業態
※表示単位未満切り捨て

2021年3月期上期 商品別 カー用品売上増減額

商品別 小売売上高増減額（前期比 全店ベース）

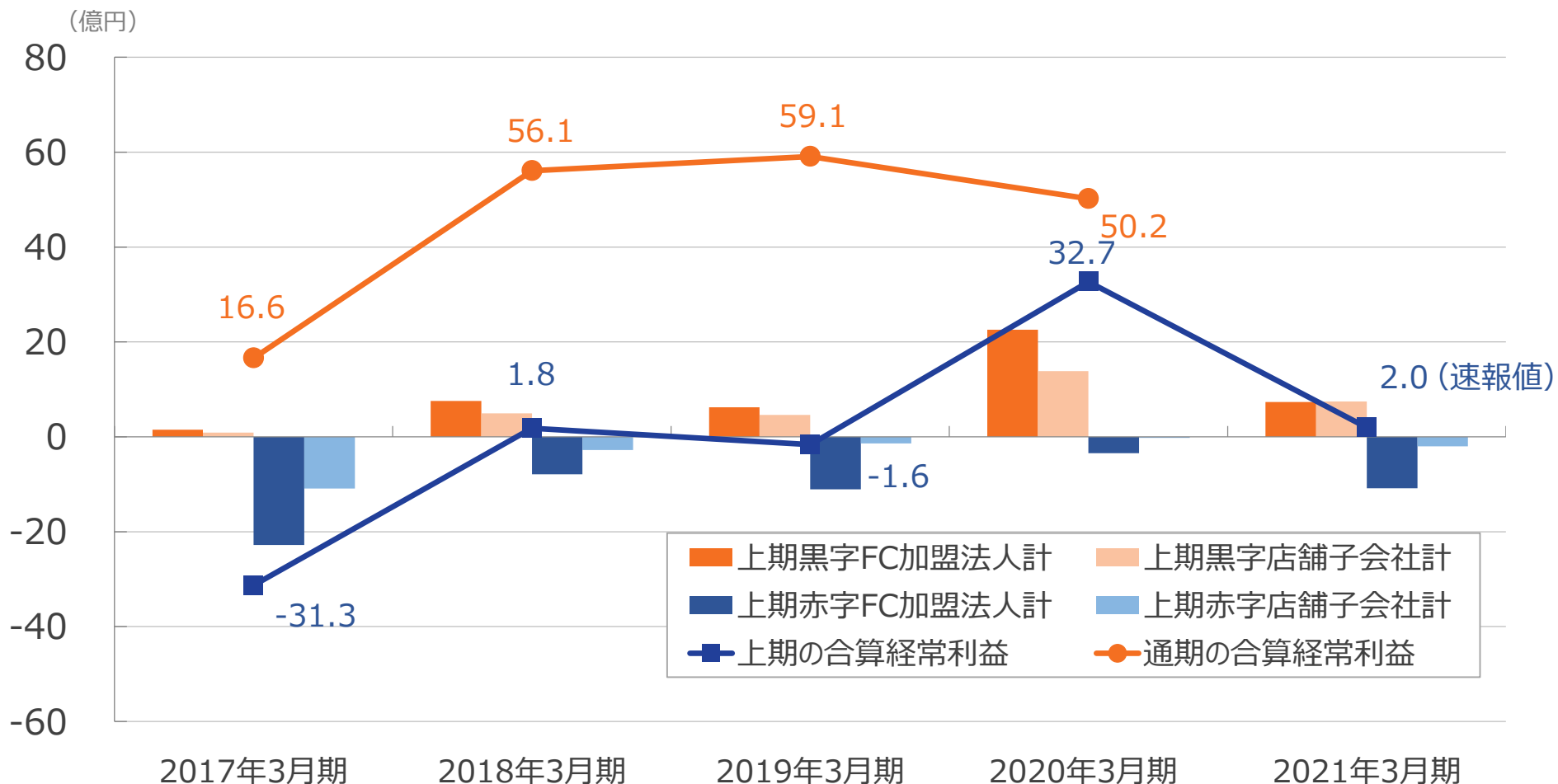


※対象：国内オートバックスチェーン全業態

※表示単位未満は切り捨て

FC法人の決算状況

FC加盟法人の経常利益



※対象：国内オートバックスチエン全業態
 ※表示単位未満は切り捨て

注) 上場FC加盟法人3社除く
 一部決算未確定法人は予測値

2021年3月期上期 海外連結子会社の状況

(単位：
百万円)

	フランス		タイ		シンガポール		中国		マレーシア		オーストラリア	
店舗数	10		16		2		0		5		0	
期間	21/3 2Q	20/3 2Q	21/3 2Q	20/3 2Q	21/3 2Q	20/3 2Q	21/3 2Q	20/3 2Q	21/3 2Q	20/3 2Q	21/3 2Q	20/3 2Q
売上高	2,993	3,705	324	369	774	661	379	549	16	30	750	692
販管費	1,578	1,911	129	164	248	262	82	99	17	20	213	212
営業利益	▲0	24	▲26	▲55	145	13	17	10	▲10	▲9	10	12

状況

3月～5月はロックダウンにより休業。6月以降は反動需要により売上計画を上回る。バッテリー・洗車用品が好調。販売費削減に加え、家賃減額交渉などにより販管費減少。

外出規制の影響で客数・売上減。家賃交渉や販管費の見直しにより、営業損失を縮小。2020年10月20日SABの一部株式をPTGに譲渡し、当社連結対象から除外。

政府発令のサーキットブレーカーによりAB業態は売上が大幅に減少したが、解除後は売上が回復。板金整備のSK AUTOMOBILEは計画通り推移。

外出自粛などの影響による、新規取引獲得に向けた営業活動の制限が影響し不振となったが、5月以降は営業活動を再開。卸売は回復傾向。併せて販管費も削減。

活動制限令により4月は全店休業。以降も活動制限による外出規制が厳しく、売上不振。販売費削減に加え、家賃減額交渉などにより販管費減少。

外出規制や自粛の影響による売上大幅減があったが、7月以降は前年を上回る回復。鉦山系重機に向けたバックカメラや自社ブランドのAV機器・無線機が好調。

2021年3月期上期 ディーラー・BtoB・ネット事業概況

ディーラー事業

- ✓ 事業を統括する子会社を設立し、各拠点の営業体制を強化
- ✓ 新車・中古車販売だけでなくサービスの強化を推進
- ✓ 新型コロナの影響により売上は大幅に減少も、徐々に商談件数が回復



BtoB事業

- ✓ 前期に再編した卸売事業子会社にて、営業活動最適化を進め利益改善
- ✓ 新規取引獲得に向けた営業活動が制限され売上減少も、現在は商談再開
- ✓ 車検・整備・板金事業等を行う子会社 2 社においては、底堅く売上利益は概ね計画通り



ネット事業

- ✓ 品揃え、プロモーションなどの再構築
- ✓ 自社サイトをリニューアルし、利便性・ユーザビリティ向上
- ✓ ECでは、新型コロナ感染拡大防止のため一時中止していた店舗受け取りサービスを再開



下期の事業環境の想定

プラス要因

- ✓ クルマの利用頻度向上を背景とした、好調分野の継続需要
(洗車用品/キズ補修関連/車内小物/バッテリー)
- ✓ 前年の記録的な暖冬に対する反動としての冬季用品需要の高まり
- ✓ 車検対象車両台数の増加に伴う車検需要の増加

マイナス要因

- ✓ 新型コロナウイルスを起因とする経済停滞による消費マインドの低下
- ✓ 上期における販売促進活動減少に伴う、今後の来店客数への影響
- ✓ 季節変動を起因とする不透明な冬季用品需要

国内店舗売上高 前期比

当初計画	上期計画	下期計画	通期計画
既存店	▲10.7%	+10.4%	▲0.2%
全店	▲10.7%	+10.4%	▲0.2%
修正計画	上期実績	下期計画 (修正)	通期計画 (期初計画据置)
既存店	▲10.1%	+9.8%	▲0.2%
全店	▲10.1%	+9.8%	▲0.2%

※対象：国内全業態の売上高

2021年3月期 連結損益 下期・通期計画

通期の業績予想は期初計画通り

	上期		下期		通期 (期初計画据置)	
	実績	前期比	予想 (修正)	前期比	予想	前期比
(単位：億円)						
連結売上高	997	▲10.2%	1,240	12.4%	2,238	+1.1%
売上総利益	331	▲6.5%	383	8.7%	715	+1.1%
売上総利益率	33.3%	+1.3pt	30.9	▲1.0pt	31.9	▲0.1pt
販管費	296	▲4.7%	342	+6.9%	639	+1.2%
営業利益	35	▲19.4%	40	+28.0%	76	+0.2%
営業利益率	3.6%	▲0.4pt	3.2	+0.4pt	3.4	+0.0pt
経常利益	38	▲17.0%	42	+24.9%	81	+0.5%
親会社株主帰属利益	23	▲16.5%	31	236.3%	55	+46.1%

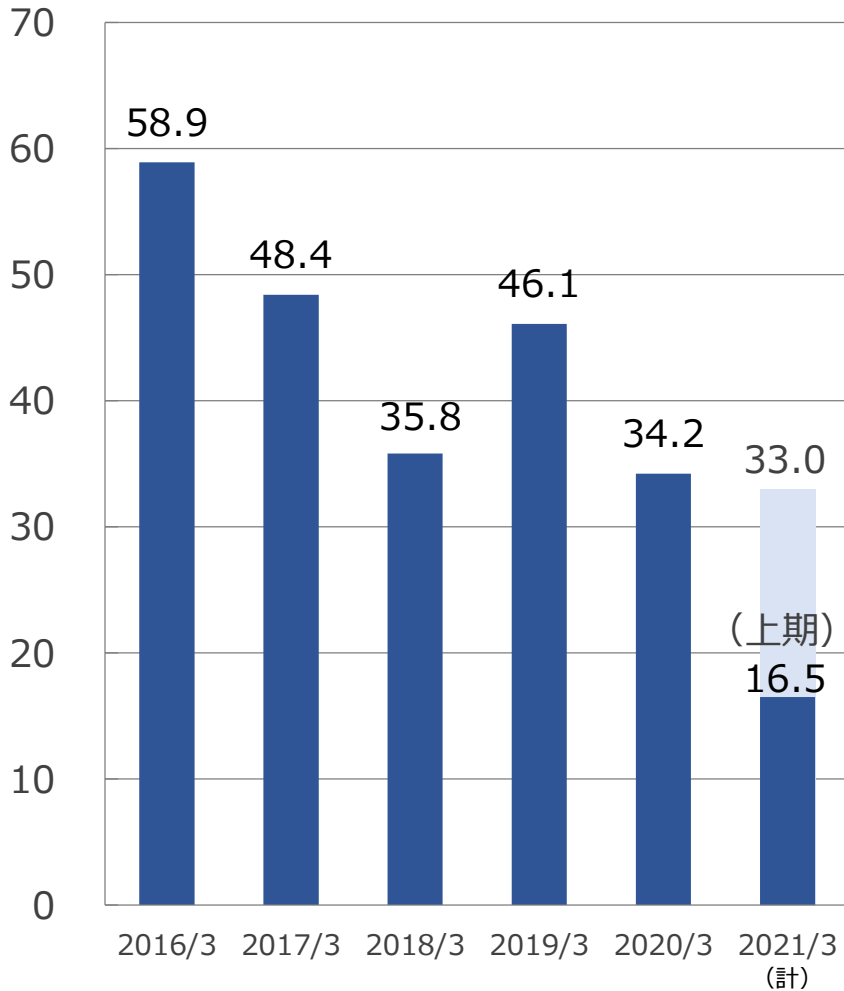
※表示単位未満切り捨て
※対売上比・前期比・計画比は、円単位で計算

2021年3月期 セグメント別 下期・通期計画

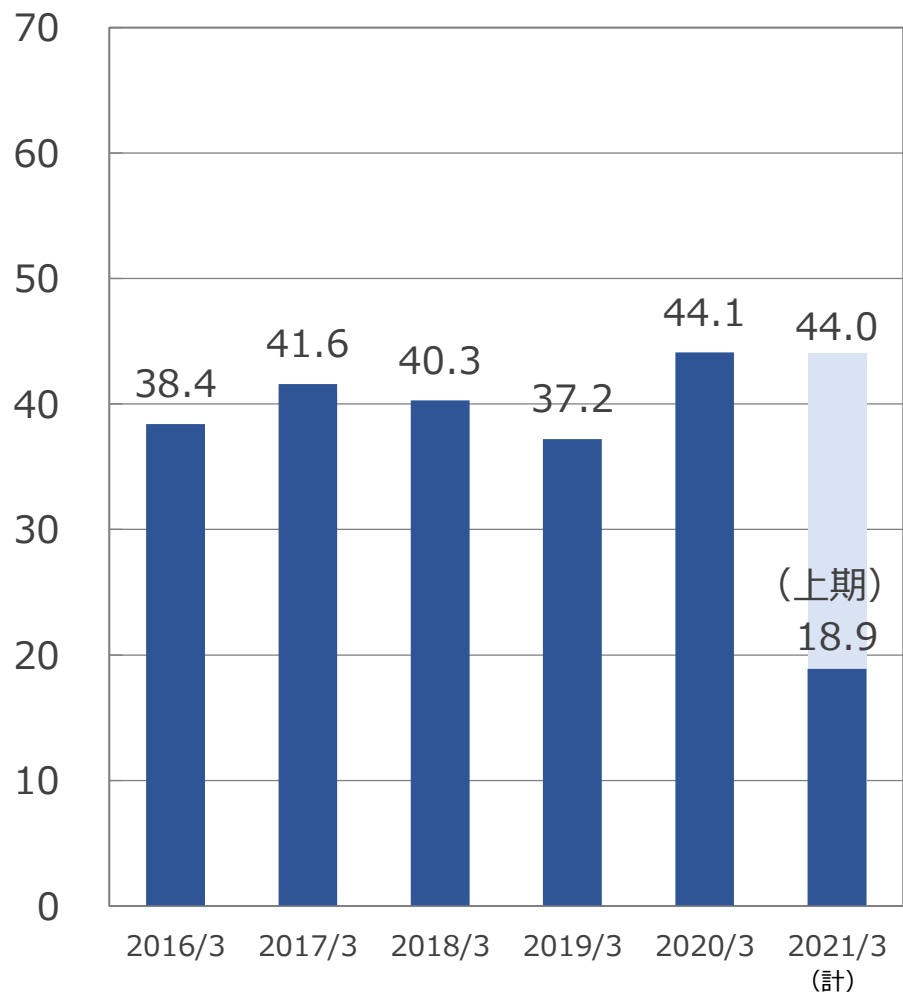
	上期		下期		通期 (期初計画据置)	
	実績	前期比	予想 (修正)	前期比	予想	前期比
(単位：百万円)						
国内オートバックス事業						
総売上高	80,009	▲12.0%	97,370	10.3%	177,380	▲1.0%
営業利益	7,277	▲11.5%	8,282	29.6%	15,560	6.5%
海外事業						
総売上高	5,221	▲13.6%	5,968	4.5%	11,190	▲4.8%
営業利益	34	—	▲694	—	▲660	—
ディーラー・BtoB・ネット事業						
総売上高	18,440	1.7%	24,529	19.6%	42,970	11.2%
営業利益	▲322	—	▲397	—	▲720	—
その他の事業						
総売上高	1,683	21.5%	2,276	61.0%	3,960	41.5%
営業利益	▲88	—	▲381	—	▲470	—
調整額						
営業利益	▲3,318	—	▲2,791	—	▲6,110	—

2021年3月期 設備投資・減価償却費 下期・通期計画

設備投資



減価償却費

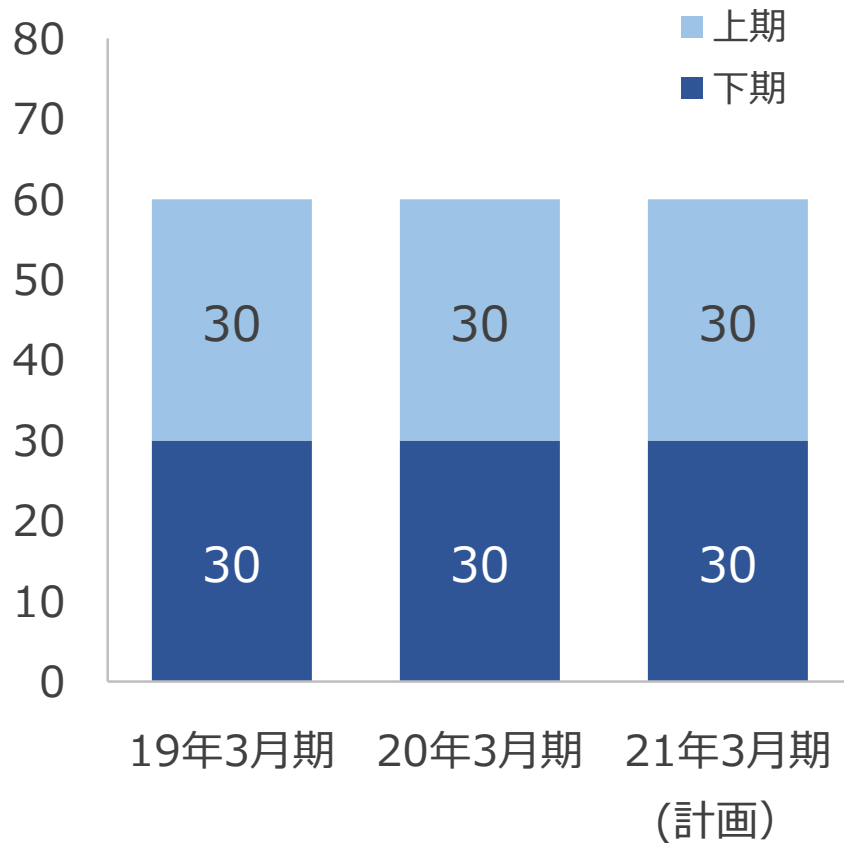


※単位：億円
※表示単位未満切り捨て

2021年3月期 配当・自社株買い 下期・通期計画

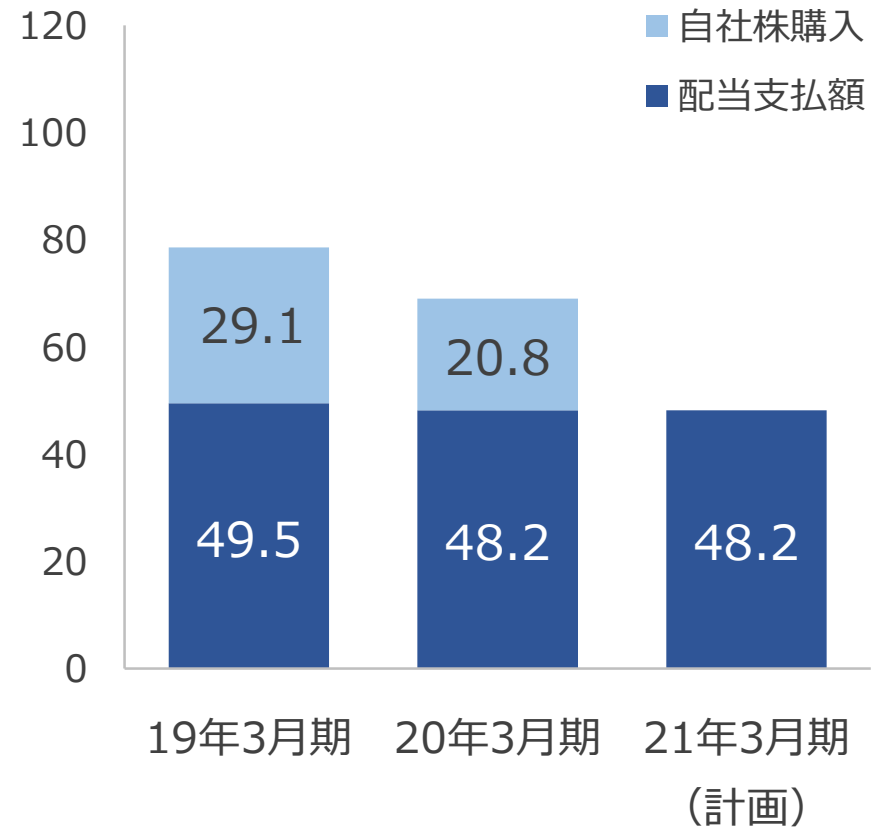
一株当たり配当金の推移

(円)



配当と自社株買い金額

(億円)



**新型コロナウイルスへの対応
および
5年ローリングプラン2020**

**代表取締役 社長執行役員
小林 喜夫巳**

新型コロナウイルスへの対応

お客様・お取引先様・従業員の健康を守る

～感染しない、感染させない～

フランチャイズチェーン加盟法人の経営を守る

～財務面・運営面を支える～

新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組み

新型コロナウイルス感染拡大防止へのオートバックスグループの対応

- ✓ お客様・お取引先様・従業員を守る ～「感染しない、感染させない」活動の徹底～
- ✓ 生活における重要な移動インフラであるクルマの安心安全を守る

	店舗	オフィス
緊急事態宣言 発令時	<p>メンテナンス中心の限定営業</p> <p>営業時間の見直し※一部店舗除く</p> <p>営業情報をHPで随時更新</p> <p>検温・手洗い・うがいの実施</p> <p>接触機会を最小限にする取り組み</p>	<p>出社禁止（在宅勤務）</p> <p>※事業継続および店舗支援などでやむを得ず 出勤する場合は、出勤前の検温・消毒を徹 底し、感染拡大防止に最大限考慮し出勤</p> <p>〈参考〉 出社率 17%（4～5月）</p>
現在 （継続中）	<p>検温・手洗い・うがいの実施</p> <p>接触機会を最小限にする取り組み ※次ページ参照</p>	<p>在宅勤務・リモートワーク推奨</p> <p>〈参考〉 出社率 31%（6～9月）</p> <p>働き方改革（フレックスタイム制導入） 2020年11月より順次</p>

新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組み

オートバックスでの店内・ピットの衛生管理（一例）



お客様にお並びいただく際にきちんと間隔をあけていただくための工夫をしております



レジでのお客様との接触を軽減する工夫をしております



待合室、手すり、ディスプレイ、買い物カゴなどはこまめにアルコール消毒等で除菌しております



スタッフによる車両移動の際には、ハンドルカバー、フロアカバー、シートカバーの使用を徹底しております



作業終了後、触れた箇所を除菌しております

新型コロナウイルスに係るFC加盟法人への支援

フランチャイズチェーン加盟法人支援策（費用減免・支払猶予・融資・店舗サポート）

法人サポート

ストアパーソナリティの減免

- ・加盟店負担の販売促進費用を一部減免

商品代支払猶予の実施

- ・商品代金を一定期間支払猶予

短期融資の実施

- ・支払猶予後も融資に切り替えて支援

店舗サポート

店舗への指導

- ・オンライン会議などの活用

オフィス勤務スタッフを 応援派遣

- ・店舗設備・車両の除菌、検温などをサポート

店舗の電話応対をサポート

- ・問い合わせ・予約等の対応を支援

5年ローリングプラン2020

■ 当社の使命

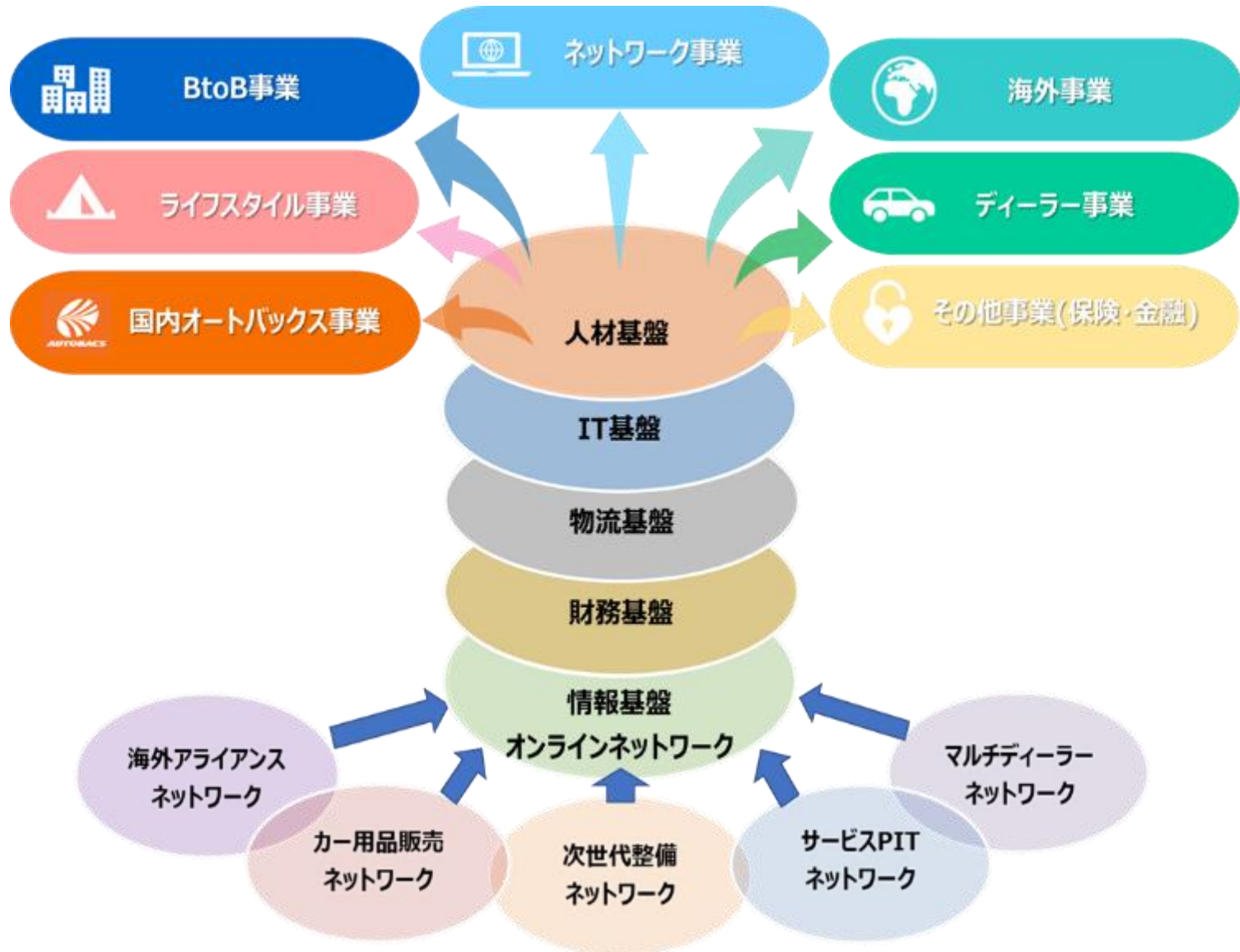
新しいカーライフ文化を創造し続ける

～社会、クルマ、人の暮らしに寄り添い、お客様により良質で豊かなサービスを提供する～

■ 5年ローリングプランで実現すること

クルマを利用するシーンに合わせたサービスを提供する
事業者間の垣根を超えたネットワークを確立・連携させる

「7つの事業」「5つの事業基盤」「6つのネットワーク」



①国内オートバックス事業

■次世代技術に対応する整備体制の準備状況

- ✓ 子会社の車検・钣金デポのイーミング研修体制整備完了
店舗でも「特定整備認証」の取得を開始
- ✓ BSサミット事業協同組合※との包括業務提携契約を締結
(2020.8.20)

- ・オートバックス約600店舗 + BSサミット380法人
- ・お客様向けに整備のワンストップを実現
- ・九州、関東、東北で実験検証開始



※約370の組合員を持つボディショップ全国ネットワーク

①国内オートバックス事業

■オートバックスアプリの改良

「お客様とのリレーションを高めたい」

- ✓ 2020年度上期のオイル交換WEB予約は前年比約150%
- ✓ 2020年9月末時点では140万ダウンロードを突破
- ✓ 2020年10月19日にアプリをリニューアル



【リニューアルのポイント】

- ・起動速度の改善、操作性の向上により快適な予約体験を実現
- ・車検証QRコードをスキャンするだけで車両情報の登録が可能

②海外事業

■ 小売から卸売への集中

- ✓ タイ子会社SABの一部株式を譲渡し、当社連結対象から除外

■ 卸売先の新規獲得

- A) ミャンマー（バッテリー） B) フィリピン（バッテリー）
C) 台湾（バッテリー） D) バングラデシュ（オイル等）
- ✓ コロナ禍においてもリモートを活用し積極的に
営業活動を実施し、直卸先を新規開拓



■ 卸売先を変える

- ✓ 中国向け越境ECサイト「JD Worldwide」の売上伸長。
コロナ禍で減少したインバウンドの需要を一部取り込み

■ 卸売方法の開発

- AD（オーソライズドディーラー）を実験的に店舗展開
- A) マレーシア（アライアンスパートナーであるTayaria店舗より開始）
- B) 中国（上海で1店舗目準備中）

③ ネットワーク事業

■ 三菱商事グループ(株)カーフロンティアとの戦略的提携 (2020.5.1)

✓ TIREHOODの全国
4,700以上の取付拠点
とのネットワークを構築

✓ オートバックス店舗への
送客を開始。お客様
の3割がオートバックス
を取付先に選択



✓ 自社ECサイト「AUTOBACS.com」からTIREHOODへの送客も
開始し、循環送客を実現

事業基盤の整備

1) 人材基盤

人材育成、人事制度：今年度から女性部長3名を登用
既存研修のオンライン化

働き方改革：オフィス勤務者の在社率3割
働く場所にこだわらないオフィス改革の推進
フレックスタイム制の本格導入
オンライン対話会の実施

2) IT基盤：将来の成長に向けたIT投資の配分の見直し
働き方改革をITで支援



オートバックスセブン・ビジョン 2050未来共創

プロフェッショナル&フレンドリー



単体・国内店舗子会社

単体：減収減益 国内店舗子会社：減収減益

(単位：百万円)	単体	
	実績	前年増減額
売上高	69,290	▲10,254
売上総利益 (%)	15,523 (22.4%)	▲1,266 (+1.3pt)
販管費	13,254	▲792
営業利益	2,268	▲474

・カーエレクトロニクスを中心に売上が減少。一方で、洗車関連用品やバッテリーは好調。粗利率の低い商品群の減少にともない売上総利益率は+1.3pt。販管費節減。

	国内店舗子会社	
	実績	前年増減額
	26,480	▲1,502
	11,534 (43.6%)	▲707 (▲0.1pt)
	11,077	+63
	456	▲771

・カーエレクトロニクスやタイヤの減少に伴い、商品売上とともに取付工賃も減少。2019年11月に実施したFC加盟法人の子会社化に伴い販管費が増加。

※表示単位未満は切り捨て
※対売上比・前期比は円単位で計算

2021年3月期上期 車買取・販売

台数合計 **13,330台** 前期比 **▲18.6%**

業販	
内訳	売上台数
本部へ売却	418台
本部へ売却を委託	1,726台
店舗から直接	5,926台
業販 合計	8,070台

小売	
内訳	売上台数
中古車	3,771台
新車	1,489台
小売 合計	5,260台

※車買取専門店を含む全ての店舗における台数

小売・卸売、客数・客単価の月次トレンド

小売売上・卸売売上 客数・客単価 前年同月比の推移

(単位：%)	2019年 10月	11月	12月	2020年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
卸売	▲16.8	▲5.4	▲7.5	▲12.2	▲6.4	▲24.6	▲18.9	▲14.1	▲0.7	4.3	▲21.6	▲23.9
小売	▲15.8	▲3.8	▲14.6	▲6.9	▲2.2	▲10.9	▲18.7	▲10.0	▲1.0	0.6	0.5	▲26.9
客数	▲9.9	0.1	▲7.2	▲6.9	3.1	▲6.1	▲11.9	0.4	▲0.2	6.8	4.5	▲10.8
客単価	▲7.0	▲4.1	▲8.1	▲0.1	▲5.3	▲5.4	▲8.0	▲10.5	▲0.9	▲5.7	▲3.7	▲17.9
プラス 要因									密を回避できる車の利用頻度 向上を背景に売上回復			
マイナス 要因	消費税増税・タイヤ値 上げによる反動減		暖冬による冬季 商品需要の減少		新型コロナウイルス感染 拡大による需要減			前年の消費税増 税・タイヤ値上げ前 の需要増の反動減				

※対象：国内オートバックスチェーン全業態

※卸売は単体の国内オートバックス店舗向け卸売実績

出退店の実績

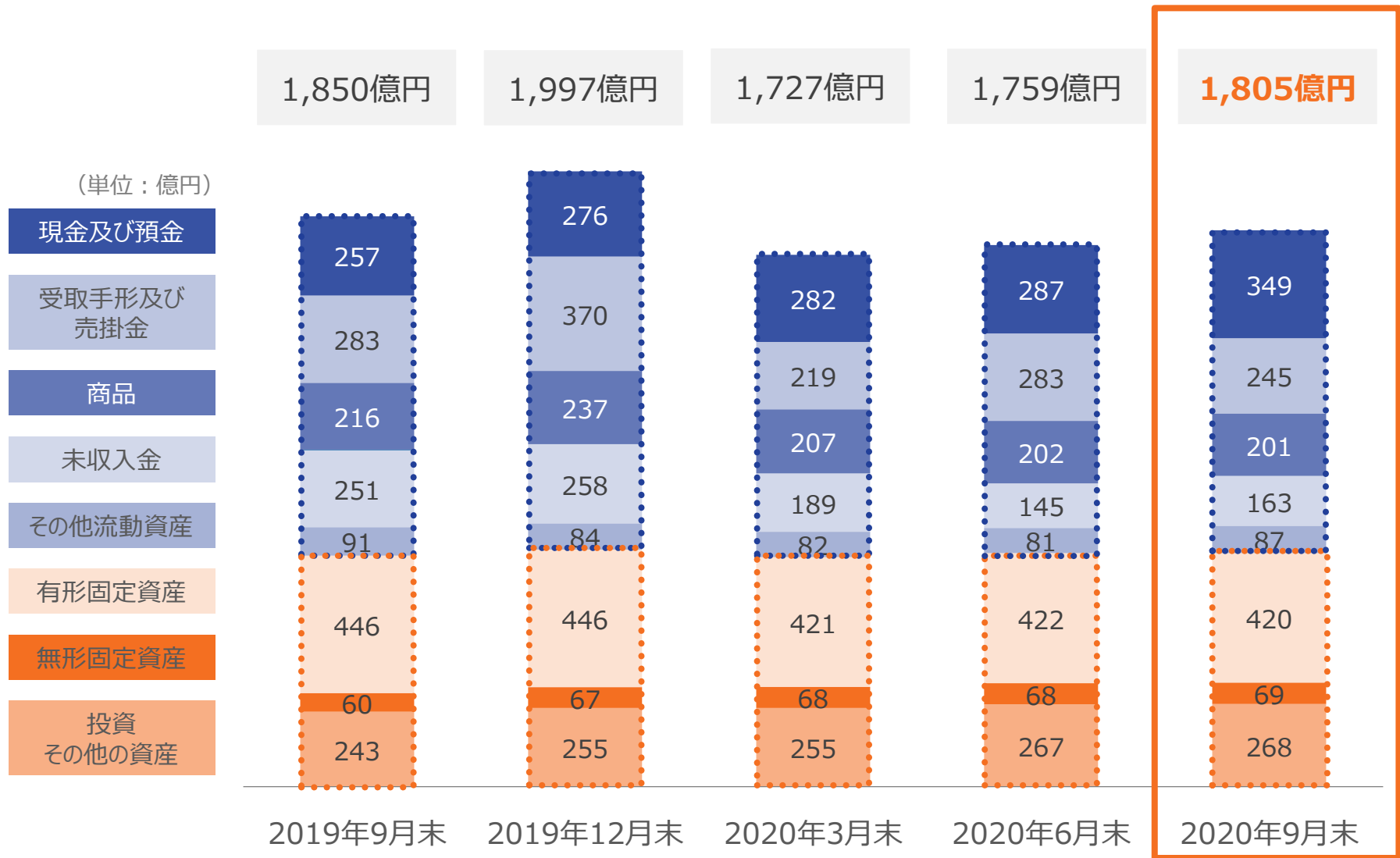
国内	20/3末	2021年3月期							21/3末
		上期（実績）			20/9末	下期（計画）			
		新店	S&B R/L	退店		新店	S&B R/L	退店	
オートバックス	490	+1	+1/▲1	▲3	488	+2	+1/▲1	490	
スーパーオートバックス	74				74			74	
オートバックスセコハン市場	7			▲1	6			6	
オートバックスエクスプレス	11				11			11	
オートバックスカーズ	3				3			3	
国内計	585	+1	+1/▲1	▲4	582	+2	+1/▲1	584	

海外	20/3末	2021年3月期			21/3末
		上期（実績）	20/9末	下期（計画）	
フランス	11	▲1	10		10
タイ	17	▲1	16		16
シンガポール	2		2		2
台湾	6		6		6
マレーシア	5		5		5
インドネシア	1	+1	2	+1	3
フィリピン	3		3		3
海外計	45	▲1	44	+1	45

※S/B：スクラップ&ビルド

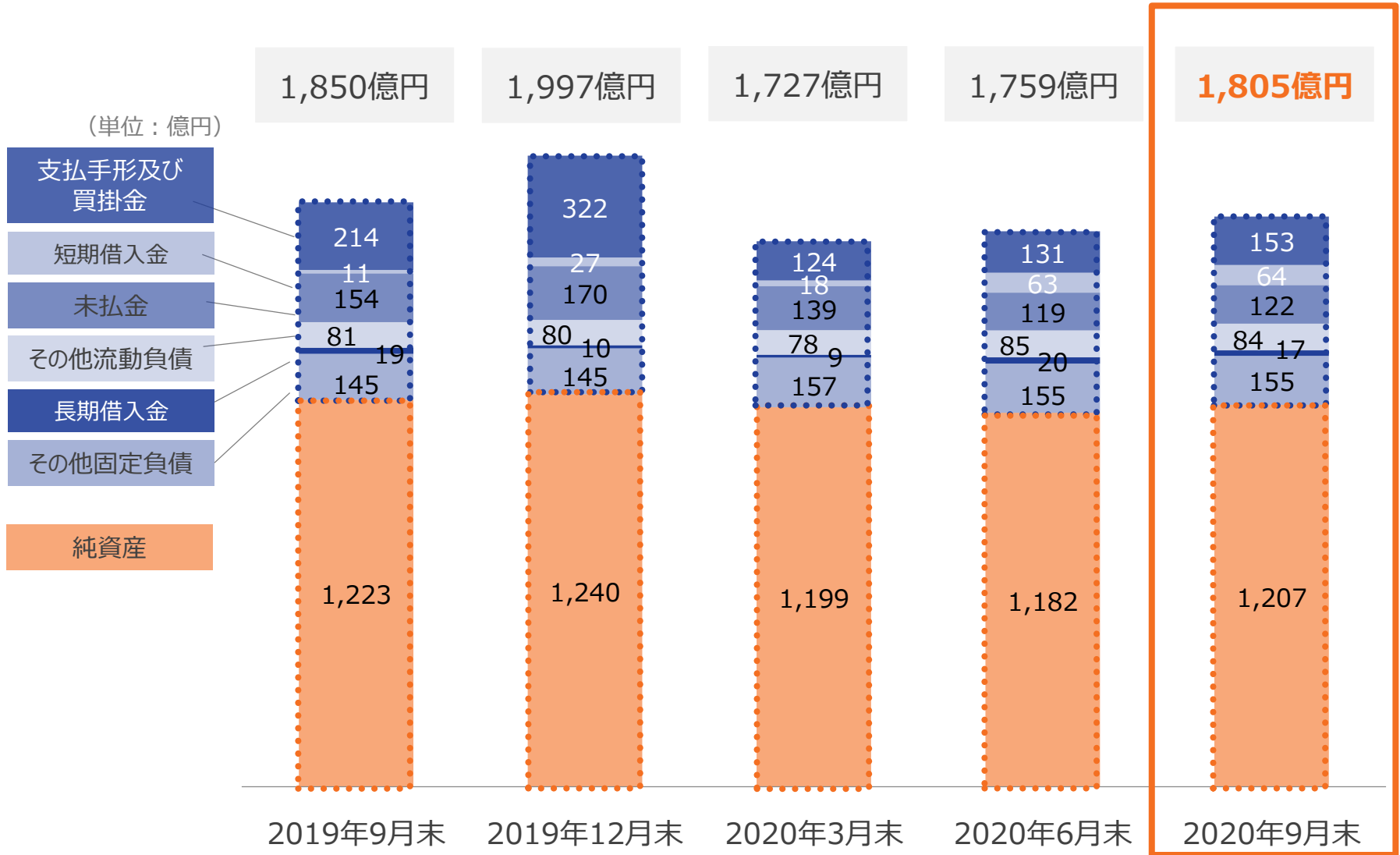
※R/L：リロケーション（業態転換含む）

連結貸借対照表 資産の部



※表示単位未満切り捨て

連結貸借対照表 負債・純資産の部

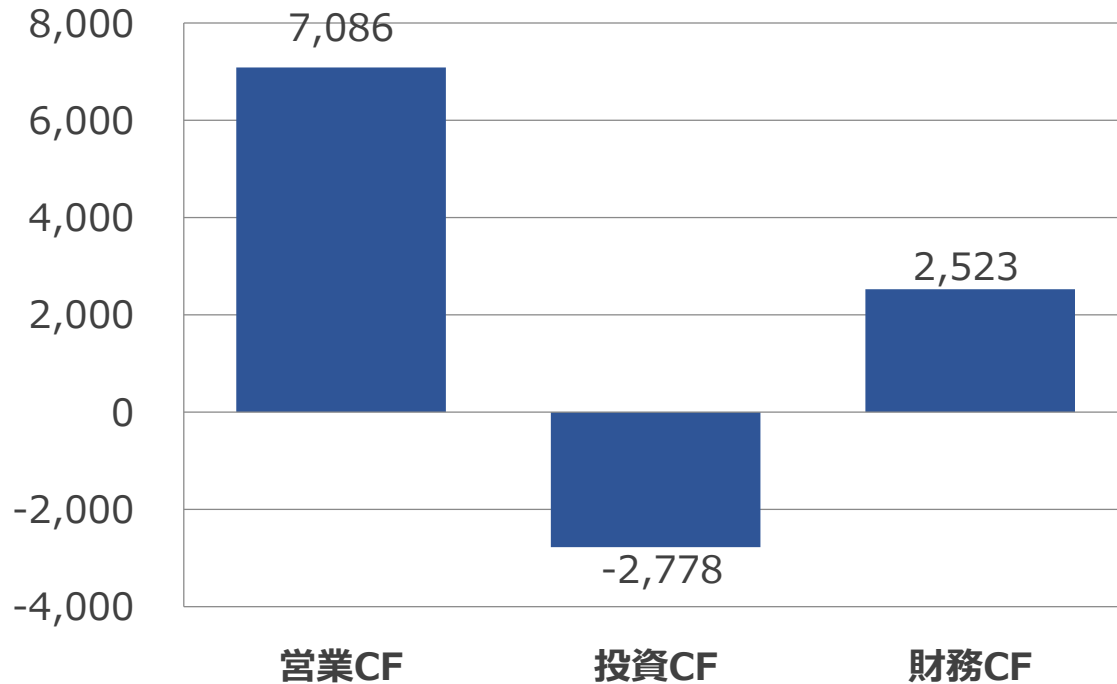


※表示単位未満切り捨て

キャッシュフロー

連結キャッシュフロー（上期）

（百万円）



2020年9月末
現預金残高：348億円
（前年9月末：256億円）

主な投資の内訳

- ・情報投資関連
- ・既存店のリノベーション



見通しに関する注意事項

当社の将来についての計画、戦略及び業績に関する予想と見通しの記述が含まれています。これらの情報は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算出しており、今後の事業内容等の変化により実際の業績等が予想と大きく異なる可能性がございます。